

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2020年5月26日(火)19:30～

会場：ZOOM

- 一般講演抄録 2-

前歯部の歯牙位置異常にオベイトポンティックを用いて審美性を改善した症例

こつば歯科医院 小坪義博 〒830-1125 久留米市北野町乙丸 77-1

■ 抄録

欠損補綴の選択には、大きく分けて3つの選択肢が考えられる。固定式を希望するのであれば、インプラントかブリッジになる。可綴式で問題なければ、義歯を選択することも可能である。但しインプラント補綴治療は、誰でもが出来るわけではなく、経済的な問題、全身および局所状態によりインプラント補綴よりも、他の補綴治療の方が適切な場合もある。

特に、前歯部欠損においては審美性が重要視され、患者も自然で快適な修復処置を希望することが多い。昨今は、インターネットを始めとする情報ツールの発達により、患者自身も様々な情報を手に入れることが可能になって来た。

非常にハイレベルな結果を求める傾向にある事も事実である。

患者は、当時21歳の男性で職業は美容師である。

左上1番の低位置と捻転が見られる。当該歯は、カリエスにより失活していた。本来であれば矯正治療を選択し、全顎的な咬合再構成が必要なケースである。

しかし、患者は美容師という職業柄、矯正治療を頑なに拒んだ。

補綴治療による審美性の改善を希望している。

左上1番の抜歯後、オベイトポンティックを用いて審美性の改善を図り、患者の満足を得たので、その治療手順を提示する。

本演題に関し開示すべき利益相反状態はありません。